

# ひがしなるせ



7月22日  
東成瀬村消防団出初式

## 議会だより

発行 No. 156  
平成22年1月20日



災害のない一年になりますように...

東成瀬村消防団出初式

## 年頭によせて



議長  
富田 義行

明けましておめでとございます。昨年、私たちの身近なところから国の段階まで、生活に直接響く政治の分野で大きな節目を迎えた年でした。

節目の一つは、なんとと言っても政権交代でしょう。解散・総選挙という最も鋭く民意があらわされる場で、積みも積もった国民の不満・批判が、いわば爆発的にしめされました。

あの大政変は、旧政権の格差拡大、地方軽視、社会を土台で支えている層を重くみない政策に、これは、一度、政権交代させなければ、民の心が心底わからないうという国民の冷静な判断の結果であったのでしよう。

しかし、新内閣の支持率がこのわずかの間に大きく下がったことにもみられるように、旧に代わって新たに登場した政権に国民が無条件の信任を託したものでないことも事実です。

みなさん。国政が、地方政治と、つまり私たちのくらしと直接つながっていることを今ほど強く実感できる時はないでしょう。道路も、ダムも、福祉も、子育ても、雇用も、中小業者の経営も、農業も、すべて国政が生活と直結です。

国政のかじ取り役をする方々には、世界の動きを正確にみて、我が国の進むべき道をしつかりとらえてもらわないといけません。節目のもう一つにあげたいのは、全国をゆるがした市町村合併が、一定の範囲で総括できる年数を経て、合併の結果が、身近な報道機関をはじめ、国から地方まで、様々なところで本格検証されていることです。ここでは、その検証・総括事例をとりあ

げる余裕はありませんが、わずか数年であられた合併の一つ一つの教訓を、自立を選択したわたしたちは冷静に見つめたいと思います。

憲法上からも、地方自治法からみても、地方自治は人口の多さ少なさを基準としてはいません。市町村合併で県内でも町村がわずかに十二に激減、人口三千人を割った村が二つもある秋田ですが、全国には人口五百人、一千人、二千人台の町村がまだ少なくありません。

しかも、それらの町村は、現在もしっかりと憲法第八章の定める地方自治を履行し、そこに住む人々のくらしを支えています。人口の減少は確かに座視できませんけれども、だからと言って、それで村が成り立たなくなるのではなく、むしろ小規模自治体の運営を保証するのが、憲法にも地方自治の章立てをもつ国家のつとめだということに確信をもつことではないかと思えます。

そういう確信を持ちながら、この誇れる村を、若者たちが躍動する村、何よりも村民自身の手による村資源活用の新たな雇用確保策・起業のとりくみ、農林業、観光を柱にした雇用創出がさらに図られる村、働く場のある自治組織にしていかなければと思えます。

そのためにも、村の活性化の一翼を担う最大の責任が議会にもあるわけですので、議員一同心を引き締め、代表機関としての任務に専心することをあらためてお誓い申し上げます。

終わりに、この一年の皆様のご多幸を心から願ひ、年頭のご挨拶を結ばせていただきます。



# 行政報告



## 教育視察、韓国からも!

▼本村の教育状況視察に韓国及び県外から多数の視察団の訪問があった。「本村だからできる教育」を行い、今後もより一層学力向上に努めたい。

▼二年目となる地域学習教室が順調に進んでいる。生徒の意欲の高まりに期待している。

▼小中連携教育は各関係団体のご協力で各分野とも順調に進んでいる。

▼村民体育館工事は天候にも恵まれ順調に進捗している。

十二月中にはほぼ完了の予定であり、多くの利用を期待する。

▼縄文ロマン事業で菅生田跡を多数確認。その他にも他遺跡の踏査、石像物の拓本採取を実施した。

▼東成瀬小野球スポ少が好成績をあげた。他にも各種読書感想文コンクールなどで優秀な成績を残しており、今後も一人ひとりの活躍に期待する。

▶ふるさと納税は、12月7日現在で216万2千円となっており、今後計画的に活用したい。

▶光ファイバ整備関係は、光ケーブルの整備、地デジ対策、情報拠点整備が順調に進んでいる。

▶栗駒山荘の営業は、11月4日で終了。昨年より売上・入込が増加しているが、地震前の6割程度にとどまっている。

▶新型インフルエンザ対策は、妊婦や基礎疾患のある方、1歳から6歳までの幼児、小中学生と順次予防接種を実施した。

▶新規特産物の振興として「わらび生産振興協議会(仮称)」の設立を検討している。

▶ナラ枯れ被害を確認し、11月に薬剤注入による防除を実施した。

▶地震後の国道復興工事は、本県側が全て完成し、平成22年には岩手・宮城県側が開通予定でいる。

▶北部地区簡易水道事業は、今年度予定の工事のほとんどが完成している。

▶幸寿苑のスプリンクラー設置工事は、新年早々に完成する予定で進んでいる。

## 新型インフルエンザ予防接種を開始

## 皆さんからの請願・陳情

12月定例会に提出された陳情は次のとおり決定した。

	件名	審議結果
①	改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情 秋田県司法書士協会 会長 鈴木 敏夫 他2名	採 択
②	社会保障と教育予算の拡充を求める陳情 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	採 択
③	雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	採 択
④	暮らしを支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	採 択
⑤	最低保障年金制度創設などを求める陳情 全日本年金者組合秋田県本部湯沢雄勝支部 支部長 鈴木 甚郎	採 択
⑥	2010年度の年金確保に関する陳情 全日本年金者組合秋田県本部湯沢雄勝支部 支部長 鈴木 甚郎	採 択
⑦	後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情 全日本年金者組合秋田県本部湯沢雄勝支部 支部長 鈴木 甚郎	継続調査
⑧	米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める陳情 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	採 択
⑨	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する陳情 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	採 択
⑩	成瀬ダム建設促進を求める陳情 雄物川水系・成瀬ダム建設促進期成同盟会 会長 横手市長 五十嵐忠悦 他2名	採 択

[ ⑥と⑦を除く陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した ]

12月15日から18日までの会期で定例会が開かれ、平成21年度の各会計補正予算並びに条例の改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決・同意された。

# 12月 定例会



東成瀬村民体育館

## 東成瀬村村営土地改良事業(伊達堰地区)の実施

伊達堰地区で予定されている土地改良事業の実施を決定した。

- 事業名 伊達堰地区基盤整備促進事業
- 工事の概要 農業用水路整備  
整備予定総延長八〇〇m
- 概算事業費 七、〇〇〇万円
- 施工年度 平成二二年度、平成二四年度
- 分担金 村営土地改良事業分担金徴収条例に基づき、受益者から分担金を徴収する。

## 東成瀬村体育施設設置条例の一部改正

村民体育館が間もなく完成することから、供用開始するために必要な条項を整備し、幸寿苑の西側に設置した東成瀬村ゲートボール場を廃止した。

## 工事請負契約を変更

- ◆工事名 東成瀬村情報通信基盤整備工事
- ◆変更前の契約額 一億八、四八〇万円
- ◆変更後の契約額 一億八、九〇〇万円
- ◆変更前の契約の相手方 秋田市中通四丁目四番四号  
東日本電信電話株式会社  
秋田支店長 飯田 啓悦
- ◆変更後の契約の相手方 秋田市中通四丁目四番四号  
東日本電信電話株式会社  
秋田支店長 小野寺 仁
- ◆変更の理由 新設電柱の増加等に伴い工事費の増加及び支店長異動による契約相手方の代表者名変更

# 臨時財政対策債 1億4,062万円を繰上償還 2億4,406万6,000円追加の一般会計補正予算を可決

## 議 決 事 項

東成瀬村ラジオ中継放送施設設置条例
東成瀬村村営土地改良事業（伊達堰地区）の実施 （4ページに関連記事掲載）
東成瀬村公告式条例の一部を改正する条例 （岩井川の掲示板設置場所を「ゆるるん」に変更）
東成瀬村体育施設設置条例の一部を改正する条例 （4ページに関連記事掲載）
東成瀬村ペット霊園に関する条例を廃止する条例
工事請負契約の変更 （4ページに関連記事掲載）
財産の処分 （5ページに関連記事掲載）
平成21年度一般会計補正予算（第5号） （2億4,406万6,000円 追加）
平成21年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補 正予算（第2号）（1,929万5,000円 追加）
平成21年度国民健康保険特別会計（直営診療施設 勘定）補正予算（第3号）（161万1,000円 追加）
平成21年度介護保険特別会計（介護サービス事業 勘定）補正予算（第3号）（歳出内での組替）
平成21年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号） （25万2,000円 追加）
平成21年度下水道事業特別会計補正予算（第2号） （10万9,000円 追加）

## 一般会計補正予算の主なもの

### 【 歳 入 】

◎村民税増	105万円
◎固定資産税増	1,003万円
◎地方特例交付金増	115万円
◎地域情報通信技術活用推進交付金	1,000万円
◎防災情報通信設備整備事業交付金	550万円
◎特別支援教育就学奨励費補助金増	139万円
◎すこやか子育て支援事業費補助金増	133万円
◎ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費補助金増	185万円
◎土地売却収入増	1億7,693万円
◎立木売却収入増	3,782万円
◎奨学資金貸付金元利収入減	△333万円

### 【 歳 出 】

◎奨学金貸付金減	△182万円
◎仙人市場・都市と農村交流ユビキタウン事業	1,452万円
◎国保（直診）特別会計繰出金追加	161万円
◎地域資源を活用した商品開発と販路拡大事業委託料	185万円
◎全国瞬時警報システム設備工事	560万円
◎村民体育館駐車場等土地購入費	130万円
◎臨時財政対策債繰上償還金	1億4,062万円
◎財政調整基金積立金追加	8,000万円
◎予備費追加	314万円

## 成瀬ダム用地の財産処分

- ◆土地（椿川字トクラ二番地一のうち）  
八万五、八八七・二九m
- ◆処分予定価格  
六、六一三万三、二二三m
- ◆処分の方法  
随意契約
- ◆契約の相手方  
湯沢市関口字上寺沢六四番地二  
国土交通省東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所長 浜 本 聡

## ■ 議員倫理条例に基づく報告 ■

「政治倫理確立のための村議会議員の兼業に関する条例」の規定により、村長から次のとおり報告があったので公表する。

### ◎保育園バス購入契約

●請負人氏名	タゴナイ自動車 佐々木七男
●関係議員氏名	佐々木正夫
●請負契約等の内容	トヨタ ハイエース 1台
●契約金額	359万1,000円
●発注期日	平成21年11月6日
●納入期日	平成22年2月4日
●請負人選定理由	村内自動車販売業者

# 一般質問



谷藤 怜子 議員

## 統合保育所の候補地について

### 村長／選定の観点を重視して決定した

**問** 現在の両保育園は、園庭が狭く子供達が伸び伸びと走り回ったり、外遊びもままならない状態なので、今度建てるなら広々とした場所へという思いがあった。また、住民の一部からも「もっと広々としたところに保育所を建てられないのか」とう声がある。

**答** 計画は最初から東小第一体育館及びランチルームの跡地だったのか。他にも候補地がいくつあったのか。統合保育所だけの建設は考えなかったのかを伺う。

**村長** 建設場所の候補地については、全く白紙の状態で臨んだ。小学校や中学校周辺、役場周辺、幸寿苑などを候補地として慎重に総合的に検討した。検討委員会で協議していただき、保護者へのアンケートも実施して次の8点の選定の観点を重視して決定した。

- ① 子供達の安全並びに事故の未然防止
  - ② 多くの住民の目が注がれること（安全な場所）
  - ③ 通園距離と子供達への負担軽減
  - ④ 保護者や家庭の子供達の送迎の便益
  - ⑤ 小学校との連携（幼少連携教育）
  - ⑥ 余裕ある園舎、園庭、駐車場のスペースの確保
  - ⑦ 建築費の抑制
  - ⑧ 国や県の特定財源の活用
- 単独の保育園建設は考えられなかったのかということだが、当村のような地域では子育て支援センターの果たす役割が非常に大きいものがあると思う。複合的な施設として整備した方がより合理的で効果的であるという判断の下に子育て支援センターを併設する形を取った。

### 保育所の防音対策について

**問** 先日、全員協議会で設計図をみせてもらったが、一階が保育所で二階がランチルームとなっている。昼寝の時間と給食の時間帯が重なるが十分な遮音対策が取れるのか。また、遮音構造にすることでどれくらいのかかり増しになるのか。部屋の間取りなども関係者によく見てもらい、使いやすい施設にして欲しいと思う。

**村長** 普通の構造よりは防音及び遮音構造を二重、三重にして子供達の昼寝には支障のないような設計をしていきたい。当然、かかり増しはすると思うが、額についてはつかまえていない。

### 保育所の暖房は

**問** 保育所の床暖房にペレットストーブを使用するということだが、

工口ではあるがコスト的にどうか。ペレットストーブは一般に暖まりにくいと言われており、部屋全体が暖まるまで時間がかかるのではないか。村では将来的に新工事業としてペレットの製造をやる予定があるのか。

**村長** 公的な機関では多少のコストアップになっても取り組んでいかなければならないと思っている。FFストーブも併設するので、ペレットストーブを主体的につけて十分な暖房効果が得られるよう二段構えでいきたい。村独自でペレットを製造したい気持ちは十分あるが、乾燥に多額の投資が必要になるので、そこまでは取り組めないと思う。

（文責は質問議員）



子供達が伸び伸びと遊べるスペースを…



佐々木 正 夫 議員

## 国の事業仕分けの中の地方交付税見直しによる村への影響は

村長／今のところ判断できないが、注意深く見守りたい

**問** 国の事業仕分けの中で地方交付税が対象となり、結論として見直しや減額をするということだと思われるが、今後どのような村への影響があると考えられるか伺う。

**村長** 地方交付税は、原資が国税であり、国税が減ると地方交付税も減ることになる。全体の地方財政計画の中では、地方に与えるの基準財政需要額が示されているので、村の地方財政計画については相当注意深く見守っていかなければならぬ。今のところ村への影響がどれだけあるかは、判断できない。

成瀬ダムが中止になった場合の  
松山台の土地はどうなる

**問** 成瀬ダムが事業凍結、事業中止になった場合、残土置き場として貸している松山台の土地の国との貸借契約はどうなるのか。また、

事業中止や規模縮小となった場合の村に対する借地補償等について契約事項はあるのか伺う。

**村長** 仮にダム事業が中止となった場合でも、ダム堤体の下の敷地の公園化や緑地化など我々が計画しているものに対する補償はしっかりと求めていきたい。

光ファイバ網とオフトーク放送

**問** 住民から「光ファイバ網を利用して固定電話よりも割安なひかり電話に切り替えたい」と思っているが、オフトークがあるのでなかなか踏み込めないでいる」という声が多く寄せられているが、これに対する村長の考えを伺う。

**村長** オフトークは、これからも行政情報などの通信手段として使っていきたい。もし、各世帯でオフトーク通信をやめる場合は、屋外放送設備からの放送で対応してい

ただくしかないと思っている。

行財政改革と職員の確保について

**問** 行財政改革を進める中で職員数もはや限界というところまで削減されており、職員一人ひとりの業務量が膨大なものであるというところは容易に推測できる。加えて課の統合により課長職が大幅に減ると共に課員が増え、管理職の管理が行き届かなくなっている状態になっているのではないかと。また、ここ数年、新規採用が無いことから、職員の年齢構成もいびつな状態になっている。優秀な職員をバランス良く確保していかねばならないのではないかと。

**村長** 計画的な職員採用については、これからも考えていく。例えば、優秀な人材については、東成瀬村だけでなく、広くホームベージ等で募集をしている。より良い

人材を確保して行政が円滑に推進できるように努力する。また、今後の課題として、民間での経験のある人を途中採用することについても考えていきたい。

(文責は質問議員)

### 他の質問項目

- ・ 政府等への要望活動のあり方について
- ・ インフルエンザ予防接種への対応について

# 一般質問



佐々木 健 夫 議員

## 合併・自立その後の良し悪しは—

### 村長／総合的に自立の選択でよかった

**問** 村は、単独自立して6年経過した。合併を含め双方の良し悪しに対する感想を伺う。

**村長** 合併のメリット（長所）としては、公共施設総合利用の広域調整が容易に出来ることや特別職、議員、職員減による人件費の大幅削減などのスケールメリットが大きいこと。また、デメリット（短所）としては、中心市主導で統一された考えが強く、旧市町村が衰退していく現実があるようだ。自立のメリットは、きめ細やかで小回りのきく行政が出来ること。（例—定額給付金を全県で最速配布）また、デメリットは、地方交付税削減などの財政不安。人口減少により基礎自治体として維持できるか不安なことなどが考えられる。

**問** 自立後10年、20年先の村の人口、行財政、農業などの姿をどのよつに描くか。

**村長** 人口減少は否めない。定年後に帰省する感覚もあるが、子供、若者世代に対する施策を積極的に講じたい。・行政には我慢して負担していただきながら行政需要に添えていきたい。・村の農産物は高い評価を受けているので、この点を生かし後継者、耕作放棄地対策と合わせて農業振興をはかっていきたい。総合的には自立を選択して良かったと思つている。

**問** 統合保育所複合施設について

**村長** 一階の保育所及び小学校から二階の子育て支援センターやランテールム、図書室へは行き来しやすい配置に配慮すべきと思うが如何か。

**問** 外部からの不審者の危害が及ばない独立した構造にして、子供達の安全を確保し、建物全体の配置に相互の関連を持たせた有効活用ができるよう配慮したい。

**問** 子育て支援センターは、児童が伸び伸びと運動できるスペースを確保すべきではないか。

**村長** 体育館のように走り回るようなスペースは施設の性格上無理がある。

**問** 新年度予算の目玉事業は—

**村長** 来年は選挙の年ということから、行政報告で骨格予算にするのと述べられた。来年度の目玉事業など大枠を伺う。

**問** まちづくり計画などに沿つたものになるが、保育所統合を23年度開所に合わせるとなると、過疎法など有利な財源との関わりで年度途中でも予算計上することも考えられるので、これらが目玉事業とも言えるのではないか。

**問** 国交省が工事を凍結したダムに成瀬ダムも含まれているが、これに対する見解を伺う。

**村長** 突然のことで戸惑いがあるが、冷静に判断して今後の有識者の検討結果を待つしかないと思つている。

**問** ダム政策も変わり、村民も今まで以上にダムに関心を持つている。村長から見て大方の村民はどのような気持ちになつていっていると解釈しているかを伺う。

**村長** 村の方々から大丈夫かという推進の立場の話は伺うが、反対だと言われたことは私自身ない。民意となると村が多数決で決定したとか決議したとかというのではないと感じている。

#### 他の質問項目

- ・ 新型インフルエンザについて
- ・ 診療所の医師について
- ・ 農政相談員の配置について
- ・ 農業士の認定について

（文責は質問議員）

# 10 月 臨 時 会

10月28日に臨時会が開催され、平成21年度一般会計会計補正予算等の案件がすべて 全会一致で同意・可決された。

案 件
人権擁護委員の推薦
平成21年度一般会計補正予算（第4号）
平成21年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第2号）

主  
な  
内  
容

## 人権擁護委員の推薦に同意

任期満了による人権擁護委員1名を次のとおり推薦することに満場一致で同意した。



佐々木慶子氏  
64歳  
【再任】

## 平成21年度一般会計補正予算

### 主な補正内容

※歳入	
新型インフルエンザワクチン接種費補助金	148万円
※歳出	
国保（直診）特別会計繰出金追加	439万円
新型インフルエンザ予防接種補助金	616万円
予備費減	△908万円

# 11 月 臨 時 会

11月25日に臨時会が開催され、人事院の勧告に沿った形で一般職の職員の給与等に関する条例を改正した。また、一般職の例により特別職で常勤のもの及び議員の期末手当についても同様の改正をした。

主  
な  
改  
正  
内  
容

○自宅に係る住居手当の廃止

○一般職の職員の期末・勤勉手当の支給率の引き下げ

		改正前	改正後
6月期	期末手当	1.40	1.25 (▲0.15)
	勤勉手当	0.725	0.675 (▲0.05)
	小計	2.125	1.925 (▲0.20)
12月期	期末手当	1.60	1.50 (▲0.10)
	勤勉手当	0.725	0.675 (▲0.05)
	小計	2.325	2.175 (▲0.15)
計		4.45	4.10 (▲0.35)

○特別職で常勤のもの及び議員の期末手当の支給率の引き下げ

	改正前	改正後
6月期	1.60	1.45 (▲0.15)
12月期	1.75	1.65 (▲0.10)
計	3.35	3.10 (▲0.25)

○職員の給料月額引き下げ  
・平均改定率 ▲0.16%

○職員の勤務時間の縮減

	改正前	改正後
1日	8時間	7時間45分
1週	40時間	38時間45分

## 常任委員会合同村内施設・工事状況視察

11月26日、総務教育民生常任委員会と産業建設常任委員会合同で村内の施設や工事状況を視察。各施設の運営状況や工事の進捗状況などを確認した。

中学校の授業を視察



完成に向け急ピッチで  
工事が進む村民体育館



十二橋（田子内）補修  
工事の進捗状況を確認

# 活動報告

## 委員会

上小阿仁村議会を訪問。



上小阿仁村では8名と県内で最も少ない議員数での議会運営状況について説明を受け意見交換をした。

## 産業建設常任委員会

11月13日、村内のナラ枯れ被害状況と新規重点作物「リンドウ」の栽培状況を視察した。



◀ナラ枯れ被害木を確認  
（田子内字木滝沢）

生産拡大が期待される  
「リンドウ」の栽培地  
（大橋場）



## 首都圏なるせ会総会／中央要望会

11月29日、椿山荘（東京都文京区）において首都圏なるせ会総会が開催された。

21回目となる今回の総会には214名が参加し、ふるさとの話題で大いににぎわった。

翌30日、村当局と合同で要望会を実施。

秋田県選出等国会議員と総務省・財務省・国土交通省を訪問し、過疎地域振興や雇用対策、成瀬ダム建設促進などについて要望した。

今年は産業建設常任委員が参加。（常任委員会が輪番で参加）



盛会だった首都圏なるせ会総会



県選出国会議員に内容を説明し要望書を手渡した

# 委員会等

## 総務教育民生常任委員会

11月20日、横手市の十文字保育所と醍醐保育園を訪問。保育園で行っている子育て支援センターの運営状況について視察した。

子育て支援センターの運営状況などの説明を受けた（醍醐保育園）



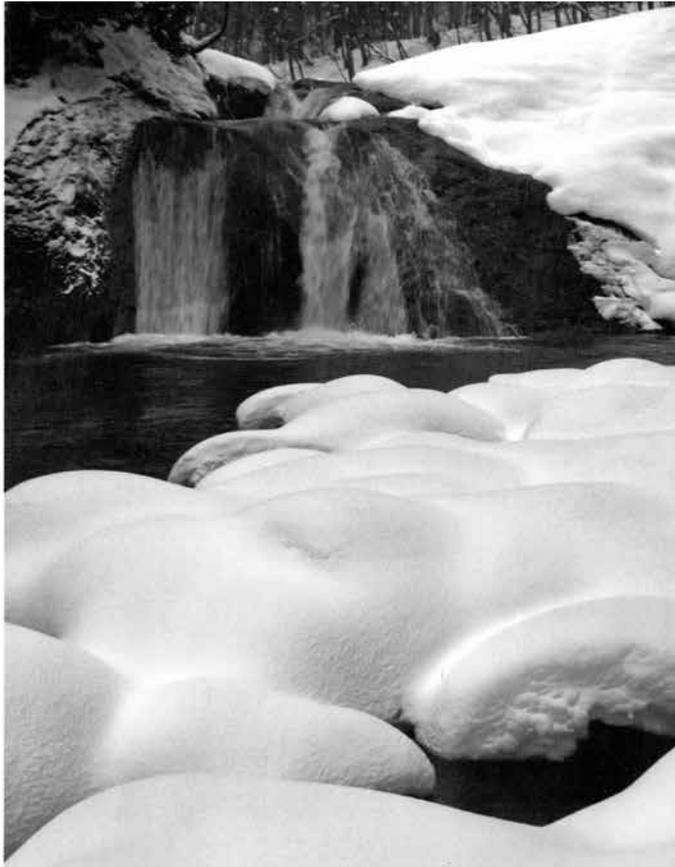
◀就園前の子どもと親の交流の場となっている子育て支援センター（十文字保育所）

## 議会運営

12月3日に藤里町議会と



藤里町では県内初の議会基本条例を制定するなど議会活性化への取り組みについて説明を受けた。



## 雪に覆われた「赤滝」

人が近づかない季節。  
水の流れ落ちる音が静寂の世界を際立た  
せます。

四季の ONE  
SHOT

▼昨年は、自民党から民主党へ政権交代で正に激動の年であった。しかも、55年体制（昭和30年）の自由民主党鳩山一郎初代総裁から54年後に奇しくも孫の鳩山由紀夫民主党代表への政権交代とは何か因果関係があるとしても。

▼国政も大変革。ダム建設の凍結、廃止も大きな動き。成瀬ダムもどうなるか地元として目が離せない。

▼世相は、明るさが見えないが、昨年行つた小5・中2の全国体力テストでも学力テストと同様に秋田県がトップクラスでわが村はその中でも上位クラスとか。知・徳・体を掲げ、なお前進。

▼毎年12月後半から正月にかけて「年賀ハガキ」が初々しさを与えてくれる。しかし、議員を含め選挙に関わる者は公選法で規制され、選挙区内には返礼のみで先んじて出すことができない。新年のご挨拶もせず欠礼していることを案じながら、良いお年をお迎えください。

（委員長・佐々木健夫）

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会  
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3117  
E-mail: gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所

# 私もひとごと



平 良  
佐々木涼香さん  
(東成瀬中学校2年)

「冬に輝くもの」

雪。それはついこの間まで赤や黄色、緑に覆われていたこの村を瞬間にして白い景色に変えてくれる、空からの贈り物。

ここ東成瀬村は冬になると、この「空からの贈り物」がたくさん届きます。時にはたくさん届きすぎて困ってしまいますが、この贈り物のおかげで、ジュネス栗駒スキー場はとてにぎやかになります。私も、家族や友人と毎年ジュネスを訪れます。そして、リフトに乗りながら景色を眺めるたびに「きれいだなあ。」と思うのです。

自然豊かな東成瀬村に生活しているからこそ、抱くことができるこの気持ち。私は、この気持ちをもっとたくさんの人にも感じてもらいたいと思います。普段は人を困らせることが多い、空からの贈り物。でも、この白く輝く贈り物は、時に私たちの心も輝かせてくれます。私は、この贈り物に感謝をしながら、この東成瀬村で生活していきたいと思っています。